

# 特集 シルバー人材センターで働く

☎ 福祉課 ☎84-0316



▲新たに組み立てているフィルム張り。気泡が入らないよう細心の注意を払う。

▲手際よくのりを付けていく宮内さん。のりが乾く前に、きれいに素早く張っていく。

▲古い襖紙を丁寧にはがす角張さん。古いのが少しでも残っていると、きれいな仕上がりにならない。

「襖がきれいになると、部屋の中がとてもきれいになったとお客様に言っていただけですが、この感動を多くの方に感

「お客様から感謝された時が一番うれしいです。大きな励みになっています。」と宮内さんは言います。

## 会員の声

### お客様の感謝が一番の励み

宮内 操さん(円中)  
角張 國男さん(上延沢)

#### 定年後に習得した技術

「最近では、襖や障子がある家も少なくなってきました。さみしいですね。」と角張さん。

#### 新たな需要に対応

「張り替えるのに必要な数しか注文しないので、失敗は許されません。慎重に作業します。」と作業への心構えを話されました。

「飛散防止フィルムは、災害時に家族を守るだけでなく防犯にも役立ちます。お客様の用意したフィルムを張る作業も受けていますので、ぜひご依頼ください。」と宮内さんは、新たな需要への意気込みを語って下さいました。

いくつになっても、住み慣れた地域で働き、社会と関わり、自分らしく過ごしたい。そんな高齢者の「地域で働きたい」という想いの受け皿となるのが、「開成町シルバー人材センター」です。

す。町内に暮らす60歳以上で働く意欲のある方でしたら、どなたでも会員になることができます。

仕事を請け負っています。開成町でも、高齢者が年々増えていきます。いつまでも生きがいを持って元気に生活していただくことが町の元気にもつながると考え、町としても様々な形で支援をしています。



広報配布作業をする長谷川 登さん(下延沢)

「親戚が会員だったこともあり、今でも毎年、12月に剪定を依頼して、きれいになった庭でお正月を迎えることができます。」

「シルバー人材センターの作業は、とても丁寧で大変満足しています。」

「先代から、25年以上にわたって、シルバー人材センターに植木の剪定を依頼されている露木さんにお話を伺いました。」

## 利用者の声



丁寧な仕事に感謝  
露木 清美さん(牛島)



町内で剪定作業する会員の皆さん

## 地域社会活性化の一端を担う



町民の皆様をはじめ、行政、企業の皆様からたくさんの仕事の依頼をいただきありがとうございます。

健康で少しでも働いてみたいと思う意欲のある高齢者が長年培ってきた知識、経験、能力をいかし、いきいきと働ける社会を実現すること、また、様々な場面でボランティア活動にも取り組むことで、地域社会の活性化の一端を担うことがシルバー人材センターの役割です。

働いてみたい、お願いしたいなど、お気軽にご連絡ください。今年、30周年を迎えられることは、大変嬉しい限りです。皆様への感謝を込め、記念式典とシルバーまつりを開催します。ぜひ、皆様お越しください。(詳細は4ページ) 今後も、安全就業を第一に、そして健康管理に十分注意して取り組んで参ります。これからもシルバー人材センターをよろしく願います。

(公社)開成町シルバー人材センター  
理事長 遠藤 成雄さん(岡野)